【とうきょう　すくわくプログラム活動報告書】

園名：すぎなみのぞみ保育園（2 歳児クラス）

活動日時：8月19日（水）10：00～

1，　活動テーマ

＜テーマ＞

手を大きく使って、みんなで絵を描こう！
～　ペタペタしたら、何ができるかな？　～

＜テーマ設定理由＞

感触遊び（スライム作り、寒天遊び、はるさめ遊びなど）を毎週行い色々な“感触”を知ることが出来ているため今回はスライム作りでも使った洗濯のりを絵具に混ぜ、感触を楽しみながらみんなで共同制作を行う。

2，活動スケジュール

2歳児　6名（欠席1名のため、参加は5名）
・手のひら全体を使って絵を描く楽しさを知る。

3，活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

【道具】洗濯のり、えのぐ、色画用紙、桶、雑巾
【設定】好きな色を選び、自由に色付けできるようにする。



4，探究活動の実践

＜活動内容＞

まず、スライム作りでも使用している洗濯のりが入った絵具の桶を一色ずつ見せていく。保育者がやり方を伝えていく中で目や口など顔は触らないことを事前に伝えた。
一人一色、好きな色を選んでもらい、大きな色画用紙に手のひらを使い色付けを行っていく。
徐々に色付けができてくると大きな花火が浮かび上がり完成することができた。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

大きな画用紙と絵具の入った桶を見ると『なにつくるの？』と嬉しそうに聞く子どもの声が聞かれた。
スライム作りで使っていた洗濯のりが絵具に入っていることや、色を付ける時は顔は触ってはいけない約束事を聞くと『おなかいたくなっちゃうよね』と日頃の感触遊びでも伝えていたためか、よく理解している様子が見られた。



一人一色好きな色を選ぶと、保育者の真似をしながら大きな紙に手のひらを使ってペタペタとスタンプをしていく。『ぬるぬるするね』と感触を楽しみながら豪快に色付けしていく子どもや、慣れない感触に驚きながら慎重に行っていく子どもの姿がみられた。



30分ほど行っていくと全体的に色が付き、花火が完成する。保育者が『花火みたいだね！』と声を掛けると完成を喜んでいた。最後は絵具を体や洋服にスタンプして、絵具がなくなるまでお互いの色を混ぜたりしながら楽しんでいた。

5，振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

今回は、感触遊びを好む子どもたちの様子から手のひらを使って絵を描けるボディーペイントを行った。
どの子どもも嫌がる様子はなく、とても集中して楽しんでいた。ボディーペイントが終わり、汚れた洋服を洗濯ごっこして綺麗にすると『じゃぶじゃぶもっとやりたい』『あわあわやりたい！』という声もよく聞かれたため次回は、石鹸づくりやできた物を使っての洗濯遊びなども活動に取り入れていきたい。